

山辺建発第 382 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

山辺町長 遠藤 直 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の事について別添のとおり要望いたしますので宜しくお取り計らい下さる様お願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県山辺町

真に必要な道路の議論が盛んに行われているが、その判定基準となる費用便益については、交通量が大きく左右することとなり、公共交通機関の未発達により自動車交通に依存せざるを得ない地方の道路整備の必要性が低く評価されるような基準の見直しを要望(冬期間における速度低下や高度救急医療へのアクセス向上による救命率の向上など地域の実情にあった新たな便益算定項目の設定)

特に高速交通ネットワークの形成が物流や観光など計り知れない経済効果を発揮することから未整備区間の早期整備が必要である。また、高速道路ネットワークが形成されることにより工業進出対象エリアとなり得ることで、新たな雇用の創出や地元産業の支援などが期待される

「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定され平成21年度からの一般財源化と中期計画の見直しが進められており、道路が確実に整備され、そのための財源の確保を確実に実施してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

山形県山辺町

○現状

少子高齢化が進行しており、特に中山間地において存続が難しい集落の発生が予想される。一方中心市街地においては独居世帯・空家の増加が見込まれる。

○課題

高次医療サービスの享受  
冬期における住民(特に高齢者)の「命の道」「生活の道」の確保  
空家の解消と地域コミュニティの充実  
地域活性化のための産業基盤の整備

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

山形県山辺町

地域産業支援に大きく寄与する道路整備を行い、地域の活性化を図る。  
子供や高齢者を守る、安全安心な生活道路空間の確保  
効率的な除雪の推進により安全・安心の確保

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県山辺町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	都市計画道路 天童鮎洗線・榎沢山辺中山線の早期整備	山形広域の連携軸となる事や本町の産業物流の大きな基軸となる	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	通学路・各公民館への連絡道路のバリアフリー化	安全確保及び地域コミュニティの充実	